

## 芦屋市次世代育成支援対策推進行動計画 事業評価基準

評価	26年度目標と26年度実績を対比して		26年度目標	→	26年度実績	26年度目標	→	26年度実績
A	目標を達成したもの	目標達成	充実	→	充実	新たに実施	→	実施
A	26年度目標は「継続」であったが 目標以上に充実したもの(事業内容や、制度が拡大されたもの)	目標達成	継続	→	充実			
A	事業内容や制度は拡大されていないが、数値的な成果として伸びがあり、前進があったと認められたもの	目標達成	継続	→	継続			
B	26年度目標が「継続」であり、目標としては達成しているが 事業内容に変化なく維持及び継続して行ったもの	目標達成	継続	→	継続			
B	過去から実施していて、状況が変わらず、維持及び継続して行ったもの	目標未達成	充実	→	継続			
C	事業内容や制度は縮小されていないが、数値的な成果として減があり、後退したと認められたもの	目標達成	継続	→	継続			
C	26年度目標が「新たに実施」となっているが 目標が達成できなかったもの	目標未達成	新たに実施	→	未実施			
C	26年度目標が「充実」「継続」となっているが 事業内容が「縮小」「廃止」して後退してしまったもの	目標未達成	充実	→	継続	充実・継続	→	見直し・廃止

(注)

- ・評価の際は前年度実績と比較するのではなく、26年度実績と計画策定時の26年度目標を比較するようにしてください。前年度と比較数値が下がっていても、26年度目標を達成している場合は「A」で
- ・26年度目標は「充実」であり、目標の数値までは達成していなくとも、数値的な成果があり前進があったと認められたものは「A」とします。